

幸せをつくる 街の必需品たち

これからの暮らし方や
働き方の変化を見つめ直し、
“私たちらしいまち”の
未来を一緒に考えます。

2026
8.22 SAT
14:00-16:00

会場 **sasaya cafe**

秦野市大森町1-8
すみれビル2階
(秦野駅北口前)

こんな方におすすめです

- ・このまちが好き。
- ・好きなまちで暮らし続けたい
- ・子育てや暮らしをもっと楽しみたい
- ・地域に心地よい居場所をつくりたい
- ・お店や活動を始めてみたい

お問い合わせ

秦野市役所 環境産業部
駅周辺にぎわい創造担当
秦野市桜町1-3-2
h-eki@city.hadano.kanagawa.jp
電話：0463-82-9615

申し込みはこちらから

幸せをつくる街の必需品とは。

1つのカフェが街の居場所になる。
素敵な図書館、広場、公園、商店街、SCが日常のコミュニティの場になる。
慈しむ自然環境が地元愛を育む。
そんな心の豊かさ、時間の豊かさのある街には、
必ず幸せをつくる街の必需品が存在しています。

ウェルビーイングな街の幸福度が高い豪州メルボルンには、
新しい街づくりのヒントがたくさんあります。
その本質を理解して日本で立ち上げたカフェが出現し、
出店したエリアでは次々に幸せな居場所になりました。

和歌山市は人と人のつながり、心地よい環境、活気ある街並みが復活しつつあります。
和歌山市駅「キーノ和歌山」は、コミュニティ図書館とホテル、地元商業が複合した
街の居場所ができたことで、子育て世代が増え、商店街に活気戻るなど化学反応が起きています。

そんないくつかの事例を紹介しながら、秦野の未来に向けた
「幸せをつくる街の必需品たち」とは何かを、皆さまと考える場にできたらと思います。



この勉強会はシリーズで開催します

今回は
9月下旬ごろ
開催予定!



地域の資源と
低未利用物件活用で
選ばれるまちに

地域の魅力を再発見し、
低未利用の土地や空き店舗、
空き家などを活かして、
人が集まり、選ばれる
まちづくりを学びます。



余白空間利活用を
楽しみ魅力化する
取り組み方

道路や河川、公園、民地など、
身近な「余白」を活かした
公共空間の使い方を
考えます。



暮らし続けたくなる、
自慢したくなる
景観づくり

建物や緑、看板、築きたくなる
道など、景観からまちの魅力
を育てる方法を学びます。



まちで起こす
コミュニティ
ビジネス

地域課題をビジネスや活動に
つなげ、持続可能な
地域づくりを考えます。



博物館ではない
ライブ感、
リノベーションの
進め方

歴史や文化を「保存する」
だけでなく、「今の暮らしに
つなげる」リノベーションや
場づくりを学びます。